

学校運営協議会 議事録

校名	府立 守口支援 学校
校長名	青木 康子

開催日時	令和 7年 11月 7日 (金) 15:30 ~ 17:00
開催場所	B棟2階 図書室
学校運営協議会委員	長谷川 陽一会長 (桃山学院大学教授) 間宮 大輔副会長 (守口市教育センター長)、森口久子委員 (学校医)、盛田 昭一委員 (錦コミュニティ協議会会長)、津蔦 貴子委員 (門真公共職業安定所統括職業指導官)、藏満 翔子委員 (PTA会長、欠席)
本校教職員	青木校長、古賀教頭、永山教頭、松岡事務長、下田首席、西川首席、竹縄首席、坂上高等部主事、南中学部主事、和田小学部主事、堀川健康安全部長、築山進路指導部長、安藤支援自立活動部長、坂和研究推進部長、万代養護教諭、西面安全衛生委員会委員長
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 学校経営計画の進捗状況 ・メンタルヘルスケア研修報告 ・伴走型支援事業進捗状況 ・学校教育自己診断
備考	

議題等(次第順)

<p>1、学校長挨拶</p> <p>2、学校運営協議会会長挨拶</p> <p>3、今年度の学校経営計画の進捗状況について</p> <p>4、各学部の児童生徒の活動の様子について</p> <p>5、創立30周年記念式典報告</p> <p>6、教職員研修報告</p> <p>7、伴走型支援事業について</p> <p>8、質疑応答・意見交換</p> <p>9、学校教育自己診断について</p> <p>10、今後の学校運営協議会予定について</p>
<p>1. 学校長挨拶</p> <p>・西側校門の側にある金木犀が今年はなかなか花が咲かないくらい暑い日が続いたが、本校の児童生徒も季節の変わり目ということでご家族含めてインフルエンザに罹患しているという報告も耳にすることが増えてきた。ますます子どもたちの健康観察を丁寧にしていきたい。来週は高等部の修学旅行を予定、おつみ祭(学習発表会)については、今年度は児童生徒数増加に伴い、2日間の開催を予定している。</p> <p>2. 学校運営協議会会長挨拶</p> <p>・資料準備に携わった教員・高等部生徒への感謝を述べられ、ワクワクを子供たちが実感できる学校づくりへの期待を伝えられた。</p> <p>3. 学校経営計画の進捗状況について説明(校長)</p> <p>・概ね計画通りに進んでいる。今年度は後から説明する伴走型支援事業なども活用し、今まで以上に全教職員からの提案等も積極的に取り入れ、今年度の学校経営計画のキーワードである『ワクワクを創発する』、『アクティブ・ポジティブ・クリエイティブ』に沿ってどうしたら子供たちが輝くのか、また成長できるのかという思いから、良い学校活動になるように全教職員で取り組んでいる。</p> <p>4. 学部主事より各学年の行事の様子を写真とともに紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学部: 宿泊学習、修学旅行の様子。 ・中学部: 宿泊学習、修学旅行の様子。 ・高等部: 宿泊学習の様子。 <p>5. 創立30周年記念式典報告 (担当首席)</p> <p>全校児童生徒からデザインを募集し、決定したマスコットキャラクターの「モリダー」や全校児童生徒で一つの共同作品を作成した会場装飾などで式典を彩り、サーカスも呼んで大盛況だった。</p>

6. 教職員研修報告

①メンタルヘルス研修報告（安全衛生委員会委員長）

8月28日に教職員研修を実施。学校医森口Drの講演で「健康な職場づくり」と「職場環境の分析」に触れ、グループワークを実施した。様々な意見を共有することができた。

②北河内支援教育Lab、守口門真支援教育Lab報告（支援自立活動部部長）

夏休み期間中で2日間実施 計109名参加。地域の小・中学校でも支援教育の専門性を求めるニーズが上がっている印象。今後も研修実施予定

③もりぐちLab報告（支援自立活動部部長）

小学部教員を中心に太田ステージの研修を実施予定。研究推進部とも連携を取っていく。

7. 伴走型支援事業（担当首席）

7月末からスタートし、各学部から様々な意見が上がった。その意見の中から「朝の連絡会」→ICT化試行中、「懇談期間」については、可能な限り短縮授業の実施を含めて検討、来年度実施予定、と意見を基に改善を進めている。また、各学部で対応可能な内容は各学部で検討していく。

8. 意見交換・質疑応答（要約）

●事前質問にて伴走型支援事業の説明を求めていたが、先ほどの説明で理解できた。

●体づくり運動について。児童生徒の体の硬さに心配している。データを取りながら運動時間を確保してほしい。

●教職員のメンタルヘルス研修は職員みんなで取り組んでいることが素晴らしい。業務改善については、ICT機器をつかって不必要な業務は減らすべき。ただ、会議を減らす、校内研修を減らす、だけではなく増やすものについては増やしてもらいたい。朝の連絡会のICT化は朝の連絡会に居ない人にとっては必要なツール。工夫しながら継続して進めてもらえたら。

●北河内支援教育Lab・守口門真支援教育Labについて、支援に対する知識を広めていくことが地域の教育向上につながっていくので、とても良い取り組みだと思う。

●昨今、子どもの不規則な生活環境や様々な要因で基礎体温下がっていることを心配している。運動時間の確保や規則正しい生活時間を意識するなど、健康に努めてもらいたい。

9. 学校教育自己診断について（担当首席）

教職員向けについては昨年度からの変更点はない。Googleフォームを使い、100%の回答率をめざしている。

保護者向けは例年通り紙媒体を使用。昨年度は81%。それら結果を踏まえて成果と課題を改善していけるように次年度につなげていきたい。

●教職員は100%の回答率を維持することで保護者の信頼が得られると思う。

10. 今後の学校運営協議会予定について

第3回 令和8年2月13日（金）15：30～17：00

次回の会議日程

日時	令和 8年 2月13日（金） 15：30 ～
会場	府立守口支援学校 B棟2階 図書室